

# 英検の変更点について



MINAMIHIKONE

Toru Yohizaki

お世話になっております。ユニバーサルキャンパス南彦根校です。

今年も残り2か月となり、肌寒さを感じる季節になりました。

皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この度、日本英語検定協会から今後の英検に関して大きな2つの変更点の通知がありました。

今回は現状わかっている英検の変更点を皆様にお伝えいたします。

## 1. テストの枠組みの変更（3級から）変更時期 2024年第1回目から（予定）

英検のテストは、**3級からWritingが実施されますが、Writingの内容が変更される**にあたり、**試験時間も変更**となり、準1級では二次試験（面接試験）の内容が変更されます。

下記の表が今回変更となる箇所となります。

級	一次試験			二次試験	
	筆記試験			Listening	Speaking
	Reading	Writing	試験時間		
1級	語彙問題・長文問題 の設問数を一部削減 (試験時間調整のため)	英作文問題の出題を <u>1題から2題に増加</u>	変更なし (100分)	変更なし	変更なし
準1級		既存の「意見論述」の出題に加え、 「 <u>要約</u> 」問題を出題 ※①	変更なし (90分)	変更なし	受験者自身の意見を問う質問 (No.4)に <u>話題導入文を追加</u> ※③
2級		英作文問題の出題を <u>1題から2題に増加</u>	変更なし (85分)	変更なし	変更なし
準2級		既存の「意見論述」の出題に加え、 「 <u>Eメール</u> 」問題を出題 ※②	<u>時間延長</u> (75→80分)	変更なし	変更なし
3級		変更なし	<u>時間延長</u> (50→65分)	変更なし	変更なし

抜粋：実用英語技能検定（英検）の問題形式 1部リニューアルのお知らせより

具体的な問題例は、次のページに記載しております。**準2・3級は、「Eメール返信」の形式で、2級以降には、長文（単語数は級によって変化）を要約**する形式となっております。

実践的かつ総合的な英語力を問う問題となっており、旧英検とまた違った対応が必要になります。

- あなたは、外国人の友達（James）から以下のEメールを受け取りました。Eメールを読み、それに対する返信メールを、に英文で書きなさい。
- あなたが書く返信メールの中で、友達（James）からの2つの質問（下線部）に対応する内容を、あなた自身で自由に考えて答えなさい。
- あなたが書く返信メールの中でに書く英文の語数の目安は、15語～25語です。
- 解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が友達（James）のEメールに対応していないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。友達（James）のEメールの内容をよく読んでから答えてください。
- の下のBest wishes,の後にあなたの名前を書く必要はありません。

Hi,

Thank you for your e-mail.

I heard that you went to your friend's birthday party. I want to know more about it. How many people were at the party? And how was the food?

Your friend,  
James

下線部を忠実に読み取り、その回答を正しく行う！

Hi, James!

Thank you for your e-mail.

解答欄に記入しなさい。

Best wishes,

※問題の抜粋：実用英語技能検定（英検）の問題形式 1部リニューアルのお知らせより

解答例（吉崎 作）

(The party was so fun.) There were a lot of people at the party. The food was so delicious, (I liked it).  
 解答のポイントとして、架空の話であるため、自ら状況を考えて、伝える能力が求められます。質問自体はそこまで難しくなく、対応はできると感じますが、そのメール全体への返信という形で、文字数を増やすという方法もいいかもしれません。基本的な形を覚えることで、現行のWritingのテスト内容よりは簡単かもしれませんが、読み取り→意見という形自体は少々厄介だなと感じます。

※（ ）内は、下線部に関係のない、メールへの返信となっております。

- あなたは、外国人の知り合い (Alex) から、Eメールで質問を受け取りました。この質問にわかりやすく答える返信メールを、  に英文で書きなさい。
- あなたが書く返信メールの中で、Alex の Eメール文中の下線部について、あなたがより理解を深めるために、下線部の特徴を問う具体的な質問を2つしなさい。
- あなたが書く返信メールの中で  に書く英文の語数の目安は40語～50語です。
- 解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が Alex の Eメールに対応していないと判断された場合は、0点と採点されることがあります。 Alex の Eメールの内容をよく読んでから答えてください。
- の下の Best wishes. の後にあなたの名前を書く必要はありません。

Hi!

Guess what! My father bought me a robot pet last week online. I wanted to get a real dog, but my parents told me it's too difficult to take care of dogs. They suggested that we get a robot dog instead. I'm sending a picture of my robot with this e-mail. My robot is cute, but there's a problem. The battery doesn't last long. Do you think that robot pets will improve in the future?

Your friend,  
Alex

↑  
この質問に答える必要あり

Hi, Alex!

Thank you for your e-mail.

解答欄に記入しなさい。

Best wishes,

※問題の抜粋：実用英語技能検定（英検）の問題形式 1部リニューアルのお知らせより

### 解答例（吉崎 作）

I have never heard of robot pets, so I have two questions about them.  
First, how much do they cost? Also, How many kinds of robot pets are there?  
I think robot pets will improve in the future and we will see them everywhere.

赤：定型文

青：具体的な質問2つ

紫：メール内の質問への答え

3級とは、難易度も大きく違い自分で下線部に対しての質問を二つ作成する必要があるため、その質問を考える発想力が必要であると感じました。また、二つの質問作成とメール内での問いに答える必要があるため、文字数もなかなかシビアになると思います。どちらの問題も自分に関係のない話しなだけにいかに想像し、それに対して自分の英語力にあった文を作ることができるかがカギになりそうです。3級以上に形式化することが難しくなるため、柔軟に文法と単語を使い分ける必要があると言えます。

- 以下の英文を読んで、その内容を英語で要約し、解答欄に記入しなさい。
- 語数の目安は 45 語～55 語です。
- 解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が英文の要約になっていないと判断された場合は、0 点と採点されることがあります。英文をよく読んでから答えてください。

When students go to college, some decide to live at home with their parents, and others decide to rent an apartment by themselves. There are other choices, too. These days, some of them choose to share a house with roommates. **内容①** **主題**

What are the reasons for this? Some students have a roommate who is good at math or science and can give advice about homework. Other students have a roommate from abroad and can learn about a foreign language through everyday conversations. Because of this, they have been able to improve their foreign language skills. **内容②**

On the other hand, some students have a roommate who stays up late at night and watches TV. This can be noisy and make it difficult for others to get enough sleep. Some students have a roommate who rarely helps with cleaning the house. As a result, they have to spend a lot of time cleaning the house by themselves. **内容③**

※問題の抜粋：実用英語技能検定（英検）の問題形式 1部リニューアルのお知らせより

### 解答例（吉崎 作）

Students heading to college face choices: living at home, renting an apartment, or sharing a house with roommates. For some, roommates bring academic advantages including any subjects or language practice. Otherwise, there are some disadvantage such as noise, lack of sleep and more housework. The impact of living with roommates varies, from getting language skills to extra cleaning duties.

要約問題は、

- ①その文章において何が言いたいことなのかを判断する。
  - ②必要な部分を抽出する。
  - ③文とは違う言い回し、表現で作成する
- この三点が大切なこととなります。

要約は語彙力と文章構成能力が大切となりますが、現状しっかりとした評価基準はないため、実施され始めたタイミングで判断していく必要があると言えます。

各色その部分の内容を簡潔に表した形になります。

ただ、赤色の部分に関しては必要かどうかは微妙なところですので、この点に関しても確認の必要はあります。

- **Instructions: Read the article below and summarize it in your own words as far as possible in English.**
- **Suggested length: 60–70 words**
- **Write your summary in the space provided on your answer sheet. Any writing outside the space will not be graded.**

From the 1980s to the early 2000s, many national museums in Britain were charging their visitors entrance fees. The newly elected government, however, was supportive of the arts. It introduced a landmark policy to provide financial aid to museums so that they would drop their entrance fees. As a result, entrance to many national museums, including the Natural History Museum, became free of charge.

Supporters of the policy said that as it would widen access to national museums, it would have significant benefits. People, regardless of their education or income, would have the opportunity to experience the large collections of artworks in museums and learn about the country's cultural history.

Although surveys indicated that visitors to national museums that became free increased by an average of 70 percent after the policy's introduction, critics claimed the policy was not completely successful. This increase, they say, mostly consisted of the same people visiting museums many times. Additionally, some independent museums with entrance fees said the policy negatively affected them. Their visitor numbers decreased because people were visiting national museums to avoid paying fees, causing the independent museums to struggle financially.

※問題の抜粋：実用英語技能検定（英検）の問題形式 1部リニューアルのお知らせより

#### 解答例（吉崎作）

From the 1980s-early 2000s, British national museums charged entrance fees. The supportive government introduced a policy providing financial aid, leading many, like the Natural History Museum, to become free. Advocates believed it would enhance cultural access. Surveys indicated a 70% increase in visitors, but critics argued it attracted repeat visitors, hurting independent museums financially as people opted for free national museums, causing financial struggles.

準1級と2級の違いは、文字数だけでなく、2級はどちらかという主題や内容をわかりやすく記載しているのに対して、準1級ではしっかりと読むことでしか、判断が付きません。

そのため、2級の説明の際に示した①②がより大切になってきます。

ただ、要約という点においては大きく変わっていないため、語彙以外はあまり大きく飛躍していると感じませんでした。

# 総評

以上が、英検準1級から3級において変更された個所となります。従来の英検の形であれば、どちらかというところReadingに時間をかけ、それぞれの級で必要な単語・熟語・表現を覚え、それらをフォーマットに当てはめてWritingの問題に取り掛かるという印象でした。特に2～3級にかけては正しく形にはめることさえできてしまえば、合格もそこまで難しくありませんでした。ただ、今回の変更に伴い、より「自分の言いたいこと」を英語にするという能力が必要となることは間違いありません。準2～3級では「Email」の内容を理解し、それに合わせて返信を考えなければいけません。そうなると問題によって書く内容も異なるため、より自分の言葉を英語にする必要があると言えるでしょう。準1～2級は「要約」という新しい形式となり、より一層英語運用能力が求められます。それ以上に「要約」を実施しようと思うとまずは、「何がこの文章の大切な部分か」を読み解く文章読解力が必要となります。英検協会の発表の中で、変更の背景として以下のように述べられています。

- 英検はこれまで、その時々学習指導要領に表わされる英語能力観を踏まえた出題を目指してきた。
- 現行学習指導要領の「外国語」では、複数の技能（領域）を統合した言語活動の充実を図ることが目指されている。また、知識や技能の習得だけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた英語の運用を考える中で思考力、判断力、表現力等の育成も求められている。

上記にある通り、今回の改定の意図は「2020年度の指導要領の改訂に合わせたテストづくり」にあると感じます。指導要領では、英語の「運用」を述べる箇所が多く、この運用こそが、今回の「Email」や「要約」という問題形式に表れていると言えます。

ユニバーサルキャンパスでは、Writing指導をより入念に行い、形を覚えるだけでなく、英語で言いたいことを自ら英語にする能力を高めていきたいと思えます。

## 2. 新しいレベルの追加（準2級と2級の間） 変更時期 2025年度から（予定）

9月末に発表されましたが、約30年ぶりに新しいレベルを設定するとのこと。レベル的には、準2級と2級の間ということで、学校レベルで考えると、高校2年生終了時程度です。発表の中で、級の追加の背景として、

1. 5級から準2級までは各級の合格までに要する期間がおよそ1年間であるが、準2級合格者が2級に合格するまでに約2年近くかかっている
2. 準2級と2級の間には高い壁がある

上記二点から今回の変更で踏み切るとのことでした。学習する側からすると、「もう一個受けないといけないのか。」というマイナスなイメージがあるかもしれません。ただ、英検というものは、特に順番に取らなければいけないというルールはなく、もしその新設級を受けずに準2級から2級に行ったとしてもそこまで問題はありません。また情報の更新等がありましたら、ご報告いたします。